

多様な通信ニーズに応える 新・LIN アナライザ登場



MicroPeckerX LIN Analyzer

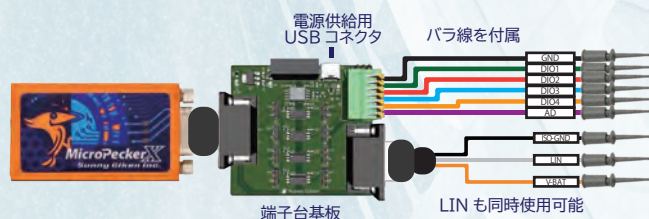
DIO/AD インターフェース搭載 LIN 通信アナライザ

ケーブルには IC クリップを搭載

LIN ケーブルは共通
簡単・確実にターゲットへ接続可能

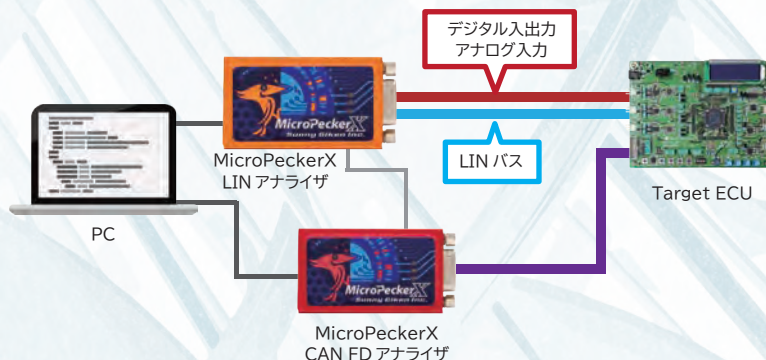


DIO/AD ケーブルは DIO 4CH、AD1CH を接続可能



CAN/CAN FD 同期

MicroPeckerX CAN FD アナライザと連携し、
CAN FD、LIN、アナログ、デジタル信号を含めた
ECU 全体の動きをモニタリング



- LIN マスター・スレーブ機能搭載
- 外部信号インターフェース搭載 (DIO/AD/SPI)
- アナログデータとの同期モニタリングや DIO トリガー連動
- Windows 版 /Linux 版ユーザーアプリケーション開発向けライブラリ提供予定

耐電圧性能向上

ハードウェア回路を見直し
新設計のハードウェアを採用。
静電気やケーブル逆接続などの
突発的な過電圧に対して、
ハードウェア回路を守ります。

長時間テストに対応

LIN マスターシミュレーション
のフレーム送信間隔やパターン
チェンジタイマーが最大 1 時間
設定可能。長時間のテストが
簡単になりました。

DIO/AD との同期拡張

DIO/AD/SPI の外部信号
インターフェースを搭載。
外部入力をトリガーに LIN
通信のロギングや AD の
同時モニタリングが可能です。
(追加ライセンス必要)

さらに使いやすく、ユーザー要望に対応

- LIN Revision の対応範囲が拡大

LIN 1.3 から 2.2A までフルサポート！幅広いバージョンに対応

- 通信ボーレートの柔軟な設定

500bps から 20,000bps を 1bps 刻みで自由設定、柔軟な通信速度に対応

- フレーム送信間隔の拡張

送信間隔が最大 1 時間に拡張、長時間シミュレーションを可能に！

- パターンチェンジタイマーの拡張

パターンチェンジタイマーが最大 1 時間に、複雑なテストシナリオを実現！

- 送信中のフレーム ID や送信状態の変更が可能

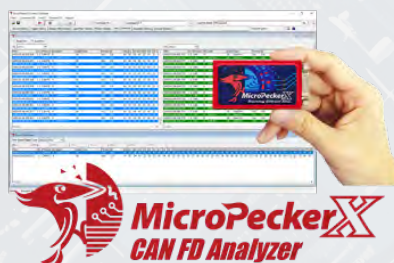
送信中でもフレーム ID や送信状態をリアルタイムに変更可能！

- Linux 対応アプリケーション開発ライブラリ

Windows に加え Linux にも対応、開発環境の選択肢が広がる！

MicroPeckerX 製品ラインナップ

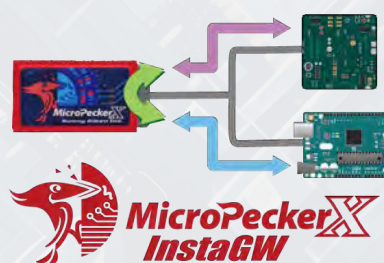
CAN / CAN FD ツール



MicroPeckerX CAN FD Analyzer
《S810-MX-FD2》



MicroPeckerX メッセージ認証機能プラグイン
《S810-MX-PM1》

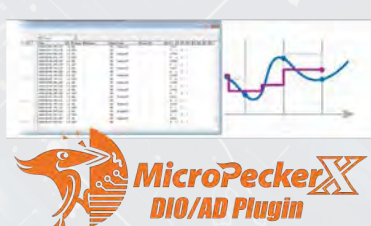


MicroPeckerX InstaGW
《S810-MX-GW2》

LIN ツール



MicroPeckerX LIN Analyzer
《S810-MX-LN1》



MicroPeckerX DIO/AD プラグイン
《S810-MX-DA1》

CXPI ツール (計画中)



《計画中》

MicroPeckerX CXPI Analyzer

●他社製品名は各社の商標または登録商標です。
●改良などのため予告なく掲載事項を変更させていただく場合があります。
●製品についての最新情報は当社 Web サイトでご案内しています。